

臨床研究「乳癌の新規腫瘍抗原(ネオ抗原)探索とHLAが関わる免疫応答の解析」 について

筑波大学附属病院 乳腺甲状腺内分泌外科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

がん細胞は遺伝子変異により様々ながん抗原(新規腫瘍抗原)を持っていると考えられております。今回の研究では患者様のがん組織を用いて新規腫瘍抗原を探索し、その抗原がHLA(ヒト白血球抗原)を介した免疫応答に関わるかどうかを検討することを目的としております。

② 研究対象者

2012年以降に筑波大学附属病院で乳癌の手術を受けられた患者様で、検体同意書によって学内の研究利用に同意していただいている患者様、または「つくば臨床検査教育・研究センター事業における診療検体の保管と共同研究での利用」により検体利用を同意していただいている患者様。

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～ 2021年3月31日まで

④ 研究の方法

手術で得られた組織の残余検体を用いてがんの特異的な遺伝子異常を検索し、新規腫瘍抗原を同定します。研究の成果は、個人情報が入り込まないように匿名化した上で、学会発表や学術雑誌及びデータベース上で公表することがあります。

⑤ 試料・情報の項目

診療記録(年齢、性別、家族歴、画像所見、治療歴、検査値)や、すでに保存してある血液、手術で得られた組織の残余検体を使用させていただきます。

試料の個人情報は削除し、連結可能匿名化して、個人情報の漏洩がないようプライバシーの保護には最大限の注意を払います。

⑥ 試料・情報の第三者への提供について

研究の一部は、当院外の第三者研究機関(外部検査機関等)で行われますが、試料の個人情報が漏洩することはありません。

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者：筑波大学医学医療系遺伝医学 宮寺浩子

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

この研究のためにご自身にかかわる情報を使用してほしくない場合は下記の責任医師まで2020年12月31日までにご連絡をください。この研究の対象から除外させていただきます。申し出をいただいた時点で研究結果が論文などで公表されていた場合のように、解析結果を廃棄することができない場合があることをご了承ください。

⑨ 問い合わせ連絡先

筑波大学医学医療系遺伝医学

住所：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

本研究の責任医師：野口恵美子(遺伝診療グループ・教授)

連絡先：電話：029-853-3352(筑波大学医学医療系遺伝医学、平日9:00~17:00)